

スタンション

親網支柱として使用出来ません。

■使用上の注意

1. 締付けスパンに御注意の上、適正な機種をお選び下さい。
2. 取り付ける際になるべく一杯に呑み込ませて（アームの腹が密着するように）締め付けて下さい。
3. 安全パトロール時には、締め具合等を点検して下さい。
4. 長期間使用していただくため、使用後はボルトを一杯に上げ（ネジ部を本体へ格納）、特に放り投げないようにして下さい。
5. ハンドレール（手摺）は原則として単管を御使用下さい。
6. 標準取付間隔は1.8mです。

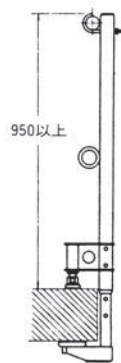
第1種 荷上げ用開口部、荷上げ構台、仮設階段の踊場、トラック棧橋、土止上部に設置するもので、床の上面より上棧の上面までの高さ95cm以上とする。

第2種 第1種以外の箇所に設置するもので床の上面より上棧の上面までの高さ90cm以上とする。

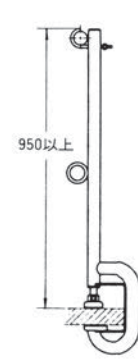
型式	締付厚さ (mm)	単重 (kg)
NRE	0~600	8.0
S-1	0~80	6.2

〔注意〕 第2種ガードポストを第1種の設置箇所に設置することはできません。

NRE型 (第1種)



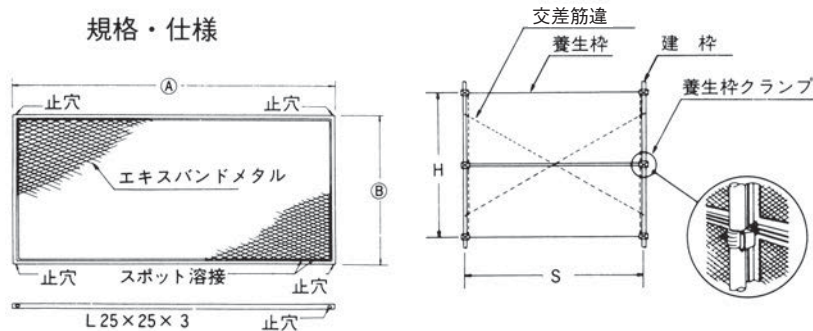
S-1型 (第1種)



養生柵

■規格・仕様

規格・仕様



型式	寸法 (mm)				単重 (kg)
	A	B	S	H	
L-8	1,815	859	1,829	1,725	11.0

■取付け方法

まず、最初に組み初めのレベルをきめて、その位置の建地に最初の養生クランプを取付けます。それから養生柵を乗せて柵（フレーム）の穴にフックして片手で保持しながら、上段のクランプを上柵の穴にフックしつつ建地に固定すれば一枚の養生柵は安定されます。このようにして下から順々に、横に進めながら組立てることによりスピーディに整然とした防護金網養生ができます。

■使用上の注意

最上段のクランプは養生柵の吹上げ防止の為、下向きに取り付けて下さい。

■養生クランプ

L-4855A 柵・単管兼用